

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100199
事業所名	グループホームこころくばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣からひな人形、五月兜、しょうぶやゆずも届き、事業所も篠目公園夏祭りや地域防災への参加に努め、日頃から双方向のやりとりがあります。特に安城市立篠目中学校との関係は確立しており、体育大会への見学の誘いもあり、職場体験では毎年約6名の生徒を受入れています。更に施設長(法人全体)がキャリア選択に関する授業で講義を担当するなど、生徒が将来の姿を思い描くことへの支援とともに、地域の中学生との交流が図られています	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は安城市役所高齢福祉課介護保健係、安城市立篠目中学教頭、民生委員、町内会長、福祉センター所長、地域包括支援センターといった多様な参加メンバーにより構成されています。事業所の様子ができるよう工夫されたレジュメに基づき、介護度や職員配置への意見も交わされ、サービス向上につながる報告や話し合いがおこなわれています	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 常から安城市担当者とは密に連絡を取り、事業所の実情や取組を積極的に伝えるよう努めています。また事業所からも安城市主催の事業所別部会、厚生病院主催の「心不全」研修会へ出席を重ねており、情報や学びを受け取る貴重な機会を得ています。令和5年度の実地指導においては人員配置について指摘があったものの、減算といった重篤なものではなく、適切に是正を図っています	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 管理者は利用者のみならず家族との対話を重視しており、「何かあればいつでも相談にのりますと」声をかけています。また最新の情報発信はソーシャルメディアネットワーク(SNS)を活用し、イベントや活動の様子をリアルタイムに発信、家族が来訪しなくても様子が確認できるよう図られています。面会や外出の要望は都度速やかな対応と実現があることも事業所のフットワークの良さを物語っています	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	-	-	○							